

■調査項目

新しい歴史教科書をつくる会・創立20周年記念講演会
「誇りある日本人を育てる「つくる会」新たな挑戦」について

・調査対応者

新しい歴史教科書をつくる会

・調査期日

平成29年1月29日（日）午後10時～

・調査目的

平成8年6月、文部省が中学校教科書の検定結果を公表したところ、歴史教科書の全てに「従軍慰安婦」が登場することが判明した。成長途中の中学生が「慰安婦」について学ばねばならないことを知り、心ある多くの識者が「このままではいけない」と強く思い、「従軍慰安婦」などというでたらめな用語（造語）で戦前の日本を貶める「諸悪の根源は戦前にあり」とする自虐史観を是正するために立ち上げられた「つくる会運動」により教科書改善運動がスタートし、20年を経る中で、様々な反対運動や妨害に遭い、加えて中国・韓国からの内政干渉とも言える外圧を受けながら今日に至っている歴史を再認識し、これからの教科書づくりを考えることを目的とする。

・調査内容

はじめに、新しい歴史教科書をつくる会高池勝彦会長より、歴史戦として位置づけて教科書づくりを行い、21世紀に生きる日本の子ども達のために、そして歴史教育を根本的に直すことを目的としたい旨の説明があった。

①記念講演（櫻井よしこ氏）「激動する世界と歴史教育の役割」

中国は米国に代わって、世界のリーダーになりたいと考えており、日本に歴史戦を仕掛けている。トランプ大統領の誕生で、気持ちの上でも圧えられていて、その対応に苦慮している。日本は和の国として東南アジアの国々から信頼されており、アジアのリーダーとしての役割を担ってほしいと期待されている。自信を持って中国・韓国に対応すべきである。拉致事件は日本人の心を見透かされた上で行われている。国民一人一人が歴史をしっかりと見つめる必要がある。そのため、「つくる会」がつくる教科書に期待したい。

②原田よしあき衆議院議員

慰安婦像の設置を止めるべきであり、同情する余地を持たない。また、アパホテルが南京事件問題の本質を周知する上で大いに役立つと思われる。

③齊藤武夫氏（授業づくりJAPANさいたま代表。元小・中学校教諭）

22年前より歴史教育の改革に取り組んできた。つくる会の教科書が文科省の検定を通ったことは、大変重要なことである。子ども達に感動できる歴史や誇りをしっかり教えることにより「本当の歴史を知りたい。アジアを解放したことを教えたい」という思いが生まれる。そのような意味でもつくる会の教科書は役割が重要となってくる。

④倉山満氏（憲政史研究者）

日本の罪は戦争に負けたことである。それでも皇室と国民の絆が切れていない。ほっておいても世界は日本についてくる。

⑤中田宏氏

横浜市長の時代に「つくる会」の教科書を横浜市で採用した。教育委員会の偽中立性に挑戦し、教育委員を変えることの難しさを実感し、4年の期間を必要とした。

⑥中山成彬元衆議院議員

日教組は日本のガンだ。娘の教科書を見て目覚めた中川昭一氏。湾岸戦争で目覚めた藤岡信勝氏。NHKに本当の歴史を伝えることを望む。

⑦杉田美保元衆議院議員

国連が女子差別撤廃をすることができたのも「つくる会」の教科書のおかげである。事なかれ主義の日本人がガンである。本当の敵は日本にあり、反日日本人の手によって歴史が歪められている。真実は我々にあるとあきらめず言い続けることが必要である。

⑧藤井元喜氏（国際政治学者）

天皇と共に生きてきた日本人。天皇の存在があったればこそ、尊敬される日本。永遠につながる命であると意識することにより、公を大事にする心が養われる。この日本の歴史の特徴を再認識してもらいたい。

⑨加瀬英明氏（外交評論家、自由社代表）

トランプ就任は日本にとって良いことである。トランプ演説のすばらしさを感じた。今後はアメリカを同盟国ではなく、外国として見なくてはならなくなった。

【質疑応答】

特になし

【呉市での展開の可能性】

呉市では、つくる会の流れをくむ育鵬社の教科書が採択されており、一部の反対者が異を唱えているが、気にすることなく採択を続けるべきである。自由社の教科書は学校現場で採用されていくべきであると思うが、一方では広く市民の目に届くよう各図書館をはじめとする公共施設に配置され広く読まれるようにしていくべきと感じる。

中国の覇権主義から我が国を守るためには、正しい日本の歴史を深く知ることにより、ジャパンファーストの精神を養うことにあると思う。戦わずして勝つ精神を教えていくようにし、真の平和を保っていく。そのような発信ができる呉市になってほしい。